

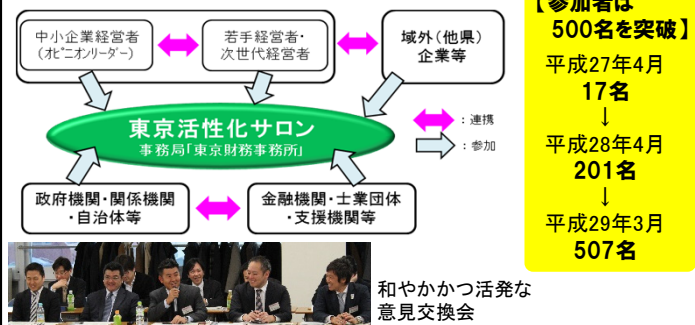
# 進化する「東京活性化サロン」 ～タイムリーかつ、きめ細やかに…「東京活性化“ミニ”サロン」はじめました～

- ◆ 東京財務事務所では、地域の活性化に貢献すべく、東京都内で活動する次世代の中小企業家(若手経営者等)、地方公共団体、政府関係機関、各種支援機関等との異業種分野の交流の場(プラットフォーム)を平成26年11月より提供(平成27年4月から「東京活性化サロン」として開催)。
- ◆ 中小企業家や地方公共団体等の関心のあるテーマを中心に、平成27年度は計9回、平成28年度は計7回の「東京活性化サロン」を開催。
- ◆ 平成28年度からは、参加者の様々なニーズにタイムリーかつきめ細やかに対応すべく、新たに「東京活性化“ミニ”サロン」を立ち上げ。
- ◆ 今後も、地域のニーズに耳を傾けながら、プラットフォーム機能の拡充を図り、地域の活性化・課題解決に貢献。

## 1. 成果事例の概要等

- 信用金庫「若手経営者の会」との意見交換をきっかけに、都内で活動する中小企業家等の交流プラットフォームとして、「東京活性化サロン」を立ち上げ。
- 地域ニーズを把握しながら、各回ごとに特色のある意見交換会等を開催。平成27年度以降、計16回の意見交換会・講演会を開催するなど、息の長い取組を継続。

### 東京活性化サロンのイメージ



### 東京活性化サロンの特徴

開かれた  
プラットフォーム

ニーズに合わせ  
柔軟に開催

人と人をつなぐ  
役割を発揮

・「緩やかな連携」をキーワードに、誰でも気軽に参加できるプラットフォームを構築  
・ロコミや地道な開拓活動により、ネットワークを拡大

・講演会、少人数の意見交換など、都度、開催方法を工夫  
・テーマも様々(生産性向上、IoT、人材戦略、観光振興、島しょ・西多摩活性化、税制等)

・サロンを新たな出会いの場とすべく、ユニークな取組を行う企業や支援機関を多数招致  
・意見交換や懇親会開催を通じ、名前で呼び合える関係を構築

## 2. これまでの取組の成果等

### サロン参加者の声から生まれた「東京活性化“ミニ”サロン」～皆さまの要望に応じ、随時実施します！～

#### 【参加者の声】

- ✓ 財務省(国)とフラットに直接話ができる機会は貴重。毎回参加したい。
- ✓ 各地から多様なメンバーが参加しているので、ネットワーク作り役に役立っている。もっと多くの人達とつながりたい。
- ✓ 最近は参加者が多すぎて、会議の場で意見を言いづらい。少人数での意見交換会形式で実施してほしい。
- ✓ 人材育成、広域連携等、様々な課題がある。サロンはニーズに即したテーマでタイムリーに実施してほしい。

- 「ネットワークの拡大」と「意見交換の充実」という2つのニーズにどう応えるか？
- 多種多様なメンバーの多種多様なニーズに、タイムリーに応えるには？

- いつでも相談・意見交換の場を用意する“オーダーメイド型支援”に取り組むべく、平成28年10月、相手方の要望に応じ随時開催する「東京活性化“ミニ”サロン」の枠組みを別枠で用意。
- 同年11月、葛飾区にて初の“ミニ”サロンを開催。

### 「東京活性化“ミニ”サロン」参加者が、Facebook等で情報発信

#### 【参加者がSNSで情報発信】

～以下、参加者による投稿～



関東財務局東京財務事務所様主催で行われている「東京活性化サロン」が御座います。初の試み！東京23区で初めての出張サロン『東京活性化ミニサロン in 葛飾』がものコト100と共催で11月10日に開催されました。今回は事業承継についてお話を聞き、その後メンバーが各自抱える事業承継の悩みについて専門家の方々の意見を聞きました。最後は総勢30名程度で懇親会で更なる交流を深めました。行政の方々、税理士の方々と葛飾の若手経営者が友好を深めた一日となりました。



・後日、若手経営者団体自らが実施報告書を作成。参加していない区内中小企業に展開。  
・12月、当該報告をかねて、若手経営者らが葛飾区長を訪問。  
・参加者からは、「規模の小さい中小企業に対してもひびきを突き合わせて話を聞いてくれた」という驚きの声や、「親近感が増した」との感想。

## 3. 今後の課題と東京財務事務所の対応

### ＜今後の課題＞

- 中小企業ネットワークの裾野拡大、幅広い層への展開。

### ＜東京財務事務所の今後の対応＞

- 進化を続ける「東京活性化サロン」、新たにスタートした「ミニサロン」それぞれの特徴を生かし、地域に感謝される取組を企画。

地域ニーズに  
向き合うこと  
とことんこだわる